

よねさとづくり通信 No.162

よねさとづくり協議会
令和5年8月1日発行



協議会全体会で、上半期を振り返りました

6月24日（土）、自治会・よねさとづくり協議会全体会が開催され、委員34名の出席のもと、今年上半期の自治会関連の取組みの報告と各団体からの報告がありました。その後の協議では、6月に行った大路山登山道点検の様子を映像で確認した後、今後の維持管理や活用について検討を始めることを確認しました。また、各団体の会計処理事務簡素化に向けて検討を進めることについても確認されました。

区長部会研修会を開催 「地域の中で助け合い、支え合うために」

6月24日（土）の協議会全体会の前に、各町内会に働きかけている支え愛マップづくりについて実践的に学んでいただく研修会を開催しました。今回は、区長・町内会長が全員男性であることから町内会の女性役員の参加をお願いしましたが、町内会役員となっている女性が少ないためか、残念ながら女性の出席は20名中5名でした。町内会の中でもさまざまな意見を反映し活動するため、男女共同参画に向けた一層の取組も必要と思われます。



支え愛マップに取り組んだ町内会 ～ 南行徳町内会の例 ～

研修では、まず、市社会福祉協議会と県社会福祉協議会の担当者の方から「支え愛マップ」について、個人情報やプライバシーとの関係なども含め説明を受けました。そして、昨年度マップづくりに取り組まれた明德地区南行徳町内会長の福田一雄さんにその経緯や実際に取り組まれた感想などお話しいただきました。明德地区自主防災組織の長でもあり、災害時の避難時の手助けや声かけの重要性を認識され、町内会役員の勉強会を手始めに、まち歩きをしたり、皆さんをリードしながら取り組まれたそうです。今後毎年見直しをされる予定とのことですが、マップづくりそのものよりもむしろ話をしていく過程が大切だったという感想でした。まずは、町内会の中で話し合うことが大切ようです。

町内会より ～ 東大路 ～

北に大路山 南に大路川の間は大路山に沿って細長い集落が東大路部落です。現在43戸、人口132名の方々が生活しています。裏山は傾斜地崩壊危険地域に指定されていますし、大路川はたびたび増水し、床下浸水など災害の多い地区であります。自主防災会会長として災害時に高齢者、要支援者を助けられるよう避難訓練等行っていきたくと思っています。また、地区内除雪作業も各2班体制で引継ぎお願いし、地区内の安全を保っていきたくと思っています。

(山本正博 東大路区長・自主防災会会長)



大路川と大路山を臨む

老人クラブ活動紹介 ～ 東雲山町内会老人クラブ 清雲会 ～

米里地区4老人会の中で一番若い老人会です。発足当時は会員28名で平均年齢68歳。現在は会員16名、平均年齢79歳です。主な目的は会員相互の親睦、入会資格は60歳以上となっています。

主な活動は、6月上旬にラッキョウ漬け講習会、近場で温泉入浴と昼食親睦会、納涼祭でのおでんづくりと販売、秋には芋煮会、春秋のグラウンドゴルフ、子どもとのふれあい笹巻きづくり、米里小の米作り等の参加、町内区域内の美化（ゴミ拾い）などです。また、サロンの会、世話役として、囲碁教室、茶話会、認知介護予防教室、カラオケ、その他食事会、相続登記の説明会等予定しています。集会所の有効利用、ボケ防止、健康保持のためにも、皆様の参加をお待ちしています。

(会長 佐々木敏一)



支え愛マップを背に説明する福田一雄さん



盛況だったころの新年親睦会（発足2年目）